

平成 20 年 11 月 11 日

各 位

会社名 東京都港区浜松町二丁目 4 番 1 号
世界貿易センタービル
K Y B 株式会社
(登記社名 カヤバ工業株式会社)
代表者名 取締役社長 山本 悟
(コード番号 7242 東証第 1 部)
問合せ先 取締役経理本部長 東海林 孝文
(TEL 03-3435-3541)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の需要動向を踏まえ、平成 20 年 8 月 7 日に公表いたしました「平成 21 年 3 月期 連結業績予想数値」(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 業績予想数値の修正

(1) 平成 21 年 3 月期連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回 発表予想 (A) (平成 20 年 8 月 7 日発表)	百万円 406,000	百万円 15,000	百万円 15,000	百万円 8,500
今回 修正予想 (B)	380,000	11,000	10,000	3,500
増減額 (B-A)	△26,000	△4,000	△5,000	△5,000
増減率	△6.4%	△26.7%	△33.3%	△58.8%
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	387,080	18,271	17,643	8,397

(2) 修正の理由

第 3 四半期以降のわが国経済は、原材料高騰や輸出の減速から景気後退となりつつあるところへ、米国発の金融危機による円高や株式相場の大幅な下落なども加わり、さらなる悪化が予想されます。海外におきましても、欧米はもとより新興国においても大幅な成長鈍化が見込まれ、世界的な景気後退が、今後長期化する可能性が大きくなっております。当社グループを取り巻く環境も、先進国における自動車の大幅な減産、新興国における建設機械需要の減退など、かつてない程の厳しい状況になることが予想されます。

このような状況下の中、当社グループは、原材料高を反映した売価改定はもとより、設備投資の絞り込み、人件費や経費の圧縮など、取り得るすべての方策にグループ一丸となって取り組み、業績の悪化を最小限に食い止める所存ではありますが、前回公表した予想を下回る見込みとなりました。

以上